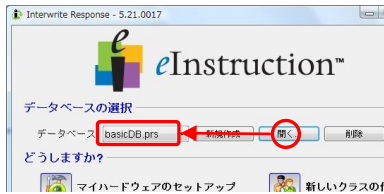


# クリッカー 応答グリッド利用ガイド



1, レスポンスシステムを起動し、予め配布されているDB（データベース）を開きます。



※ひな型DBは、下記ページにあります。  
和泉メディアサービス⇒ITサービス⇒マニュアル・申請書⇒クリッカー  
( <http://www.meiji.ac.jp/wsys/it/manuals.html#title3-1> )

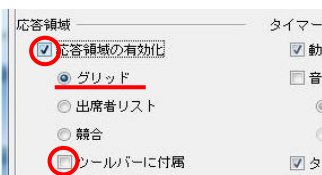
2, 「応答の収集-新しいセッション」ウィンドウでは、ご利用のクリッカー番号に対応する「クラス」を選択します。



3, 起動後、ユーザー設定アイコンをクリックします。



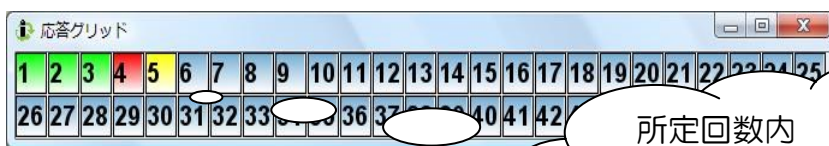
4, 「Response Preferences」タブ内の「応答領域」で、「応答領域の有効化」にチェックを入れ、「グリッド」が選択されている事を確認し、「ツールバーに付属」のチェックを外します。



5, 画面に応答グリッドが表示されます。  
ウィンドウを適当なサイズに自由に変更し、見やすい場所へ配置してください。



6, 問題を実施して学生が解答すると、クリッカー番号が「応答グリッド」に反映されます。  
※問題を作成する際、「Number of Chances」の箇所を設定した範囲内の回数であれば解答の押し直しが可能です。その場合、最後に押した解答が反映されます。



所定回数内 ⇒ 緑色  
所定回数以上 ⇒ 赤色  
無効解答 ⇒ 黄色